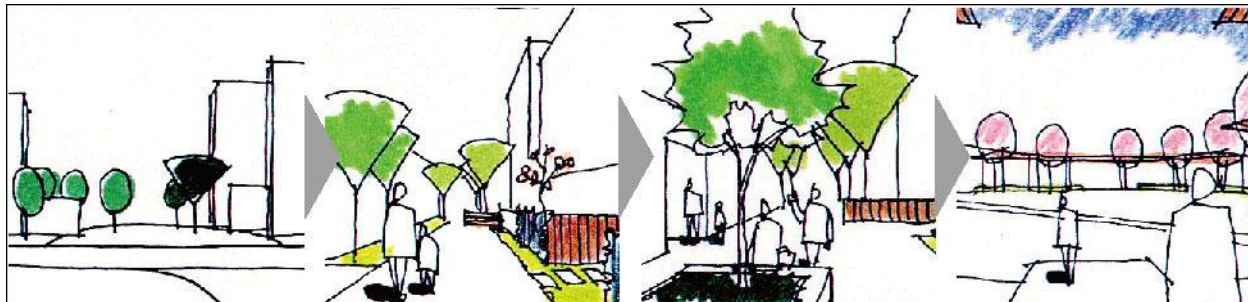


## (2) 屋外空間・共用施設

### 散歩が楽しくなる、場面展開のある屋外空間をつくる【推奨事項】

- ・ 散歩が楽しくなる屋外空間とするため、単調な空間が連続しない、場所ごとの違いが感じられる屋外空間形成に配慮する。
- ・ 屋外を歩いていて、多様な空間が順に現れてくるような、シークエンス（場面展開）を形成する屋外空間形成に配慮する。

一連の通り空間に建物や外構の変化によってシークエンスを形成した例



高木が見える

→ 沿道を歩く

→ 人溜まりと出会う

→ 広場に到着

### 遊び場や休息場所を整備する【推奨事項】

- ・ 子供や高齢者に屋外の居場所をつくるため、プレイロット（幼児の遊び場）や、ベンチのある休息場所をつくる。

生活動線沿いに座れる場所を設けた例



### 広場や中庭は、災害時対応を考慮する

#### 【必須事項】

- ・ 広場や中庭などは、災害時の一時避難場所としての防災機能向上に配慮する。例えば、テントの設営が可能な地表部の仕上げや、マンホールトイレ等の防災トイレ・かまどベンチなどが設置できるスペースの確保や設置方法を考慮する。

地表部を土の仕上げとした広場の例



### 地域アイデンティティを強化する【推奨事項】

- ・ 地域特有の建築素材を活かし建物や外構に取り入れる。また周辺環境に配慮した建物形態・色彩とする。

県産のスギ材（間伐材を含む）や、石巻産の石材（雄勝石、野蒜石、稲井石）などの地域素材を活用する





## ライフライン途絶を想定したエネルギーシステムを導入する

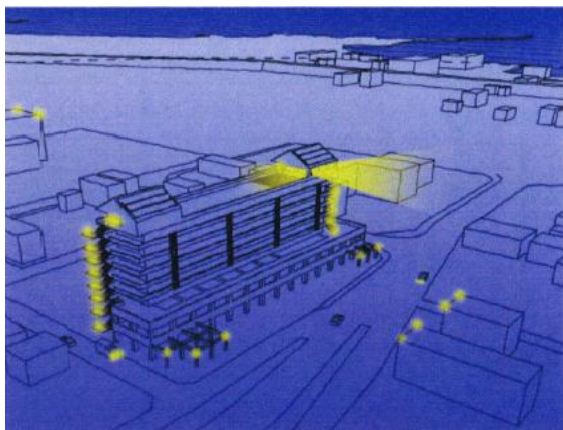
### 【必須事項】

- ・ ライフライン途絶時の安全性を確保する為や共用部分に供する為の、太陽光発電システムを導入する。
- ・ ライフライン途絶時の夜間や悪天候時に電力を供給する為の、蓄電池システムを導入する。

住棟屋根に太陽光パネルを設置した例



蓄電池による共用部分への電力供給の例



## 歩道は、歩行の安全性と快適性を高める

### 【必須事項】

- ・ 歩道やフットパスは、安全で快適な歩きやすい道とする。主要な歩行動線はバリアフリールートとしてネットワークできるよう計画する。

## 緑や生き物に触れられる環境をつくる

### 【推奨事項】

- ・ 自然とのふれ合いを楽しめる空間を身近な場所につくることを工夫する。共同花壇や菜園等、住民が植物を育てることができる場所づくりも検討する。

居住者が親しみを持って触れられる屋外空間の例



## 既存樹木など地域植生に配慮する【推奨事項】

- ・ 地域らしい景観を継承するため、既存樹木の保全など地域植生に配慮した植栽計画とする。
- ・ 均質的な緑にならないよう、季節感や多様性にも配慮する。

地域植生、季節感、多様性に配慮した植栽の例



## 駐車場の緑化を行う【推奨事項】

- ・ 広い駐車場舗装面（アスファルトなど）による美観上の問題、夏場の温度上昇の抑制の観点から、駐車場の高木植栽の他、駐車スペースに緑化系舗装材料を用いるなど、緑化に取り組む。

調和のとれた通り空間・屋外空間となるよう、**地域にも開かれた使いやすい集会室を整備する**  
トータルデザインを工夫する【推奨事項】

- ・ 通りや屋外には、駐車場・駐輪場の工作物、横断防止柵やポラード類、舗装、植栽、照明器具、サイン等、様々な要素が種々雑多に表出する。こうした多様な要素に対して、景観視点からトータルな都市デザインを行う。
- ・ 集会室は、住民が気軽に利用できる溜まり場、コミュニティ活動の拠点、地域住民を含めたサークル活動の場など、様々な活動に応える施設として整備する。例えば、屋外で気持ちよく過ごせるウッドデッキのように、地域活動への展開を想定し、集会室での活動が外部から見える計画に取り組む。

公道の舗道から歩道状空地、壁面後退部までのデザインに統一感を与えた道路空間例



屋外のウッドデッキで集会所活用の幅を広げた例



## 4. 参考プラン

